



## イケケン先生の『恐縮ですが…一言コラム』

### 第 499 回 迷走世界、そして日本～私の力で政治を変える！

2012.11.18

平成 24 年の最後になり、世の中めまぐるしく動き始めた感が強い。  
中国共産党大会が終わり、党総書記に就任した「習近平」等 7 人の指導者が選出された。  
Google は止めるし、NHK も中断されている強制国家、中国の指導部はどうやって決まるの  
だろうか？ 闇に包まれたままの摩訶不思議な国、いよいよ、したたかな習近平の登場である。  
世界中、時間との勝負という感じだ。米国の経済、イスラエルによるイラン攻撃、シリアの内戦、  
チャイナによる日本支配、EU の経済問題等々…たとえば、米国はデフォルトして借金を棒引  
きにし、新たな通貨を発行し、金本位制にするという、こんな凍りつくような話もある。オバマ大  
統領のやり方では、世界恐慌も十分あり得る話になってきたし、挙げだすとキリがないくらい  
出てくる。いやはや、一つ間違えると、えらいことになりそうだ！

国内の政治・経済も、滅茶苦茶な状況といって良い。まず、国内の経済は…  
先般、内閣府が発表した「日本経済全体の需要と供給の差を示す需給ギャップ(GDPギャップ)」  
は、金額ベースで年換算約 15 兆円の需要不足。年率換算で 3.5% 減と大幅なマイナス成長  
となり、不足幅は前期の 2.1% から拡大、デフレ傾向が強まった。  
輸出不振で生産は停滞し、悪影響は雇用、所得にも波及。東京商工リサーチによると、上場  
企業が今年募集した希望・早期退職者の人数はすでに約 1 万 7 千人に上り、昨年 1 年のほぼ  
倍になった。経団連が発表した大手企業の冬の賞与・一時金の第 1 回集計は減少率が過去 3  
番目の大きさだ。産業界からは「消費者の生活防衛意識が強まっている」(日本チェーンストア協会)  
との声上がる。日本生命保険が発表した企業経営に関する調査「ニッセイ景況アンケート」  
によると、10 年後の日本経済について、8 割超の国内企業が悲観的な見方をしていることが  
わかった。一言でいえば、日本経済は何も良くなっていないし、良くなりそうもない！

特に政治は訳が分からん状態になった。

「小異を捨てて大同団結しないと、日本は治らない」…暴走老人(田中真紀子発言)石原慎太郎の  
思惑が、どれだけ国民に理解されるか、「小異」とは何か、どこまでが許容範囲なのか、やっ  
ぱり良く分からない。第 3 極と言うが、15 も政党があって、名前さえ分からない日本の有権者  
に、「野合」「烏合の衆」との違いを納得させ、「選挙目当て」との批判を、どう、釈明するのか。  
今国民が政治に望むのは、これからの日本をどう、変えるのか、3 年、5 年後の姿を見たいと  
いうことだと思う。大政党の自民、民主でさえ、そのビジョンを「見える化」していない。  
こんなのは何で「政党」と言えるのか、この国には、ほとんど政治家がいなくなった。

そんな中、「選挙」がある。12 月 16 日は、近未来の日本の方向を決めることになるだろう。  
政治のことは「私の力では、何もできない」、そう考えては絶対ダメ！私の力で政治を変える！  
それが「選挙」である。賢明なる有権者の意思を示そうではないか、そう訴える次第である。